

金融広報中央委員会の活動

(2010 年度<平成 22 年度>)

しるぽると
www.shiruporuto.jp
金融広報中央委員会
(事務局 日本銀行情報サービス局内)

金融広報活動**1．講演会・セミナー活動**

(1)「金融教育フェスティバル」の開催	2
(2)「金融教育公開授業」の開催	10
(3)「教員のための金融教育セミナー」の開催	16
(4)「消費者教育フェスタ」への参加	17
(5)「消費者教育推進事業」への参画	18

2．啓発資料・教材、情報発信

(1)教育に関する授業のDVD製作・配付	19
(2)「金融商品なんでも百科」の改訂・発行	20
(3)「くらし塾 きんゆう塾」の季刊発行	21
(4)ビデオの貸出	22
(5)各種メディアを通じた情報発信の促進	23
(6)ホームページを通じた情報発信	24

3．コンクール

(1)「金融教育を考える」小論文コンクール	25
(2)「金融と経済の明日」高校生小論文コンクール	28
(3)「おかねの作文」コンクール	30

調査研究活動

1．家計の金融行動に関する世論調査	32
2．子どものくらしとお金に関する調査	34
3．海外の金融教育の実情調査、国際機関等との情報交換	35

都道府県金融広報委員会の活動への支援

1．金融広報アドバイザー制度	37
2．金融学習グループ制度	37
3．金融・金銭教育研究校制度	38
4．金融教育研究グループ制度	38
5．金融学習特別推進地区制度	39

(資料1) 金融広報中央委員会活動の相互連携図

(資料2) 主な金融経済等講演会の開催状況

活動概況

2010 年度は、「正しい知識を正しく伝える」をテーマに掲げ、積極的に活動を展開しました。

このテーマには、「対象者ごとに最も適切な内容を選び、相手に理解されるように伝えたい」という願いを込めっていました。実際には「金融知識を必要とするその人自身が、関心を持っていない」ケースが多いため、この願いを達成することは必ずしも容易ではありません。しかし、当委員会では、例えば、各地の講演会の内容や講師の選定等に際して、各地金融広報委員会と問題意識を共有するように努めました。また、教育関係者が金融教育の授業イメージを理解し易いように、その実践例を紹介するDVDを製作したり、広報誌「くらし塾 きんゆう塾」で、高齢者向けの解説記事にはできるだけ平易な記述を心掛け、一方、若者向けの記事には漫画を入れたりするなど、情報の伝達方法についても工夫しました。

主な活動実績は、上述のほか、以下のとおりです。

「金融教育フェスティバル」

一般向け講演会、親子向けプログラム、教員向けセミナー等と同じ会場建物内で開催するもので、各地金融広報委員会との共催で 7 回開催しました。当委員会の委員団体等からは、資料提供や講師派遣等で協力を得ました。

小・中・高等学校の教員向けのセミナー

東京で全国の教員向けのセミナーを開催したほか、各地金融広報委員会が開催する教員向けのセミナー等に対しても、講師の紹介等で、積極的に支援しました。

「金融商品なんでも百科」の全面改訂

金融機関が扱う主な金融商品の特徴、リスク等について中立・公正な立場から解説した冊子を、2年振りに全面改訂しました。

海外の金融教育に関するレポートの公表

世界金融危機への反省を踏まえて諸外国で金融教育が一段と重視されるようになっていることを紹介しました。

「子どものくらしとお金に関する調査」

小・中・高校生を対象とする大規模アンケート調査。2005 年度に第 1 回を実施したもので、今回第 2 回を実施しました。

金融広報活動

1. 講演会・セミナー活動

(1) 「金融教育フェスティバル」の開催

【目的】

児童・生徒、保護者、教育関係者をはじめ、より多くの方々に金融や経済の仕組み、あるいは、暮らしに身近なお金の知識について、楽しみながら学んでいただくことを通じて、金融教育の必要性についてご理解をいただくとともに、金融教育に対する興味・関心を高めていただくことを目的としています。

【内容】

6年目となる本年度は、7月25日の高知開催を皮切りに、以下の全国7都市で金融教育フェスティバルを開催しました。今回のフェスティバルでは、子どもたちには、おかねの仕組みや中央銀行の仕事、働くことの大切さ等について楽しく学べるよう、人気キャラクター・ショー、体験・参加型プログラムやおかねクイズ・工作コーナーなどを用意しました。また、大人の方向けのプログラムとしては、各界第一線でご活躍中の方々を講師とする講演会や教員向けのセミナーのほか、東京・北海道・岡山・千葉の会場では一般の方向けのセミナーを開催しました。加えて、委員団体や官庁などが作成した金融教育に関する資料を提供するコーナーも設けました。各開催地とも盛況で、全開催地合計で約3,660名の方々にご来場いただきました。

(敬称略)

行事名	「金融教育フェスティバル 2010」
日 時 ・ 開催地	2010年7月25日(日) 高知県高知市 2010年8月21日(土) 三重県四日市市 2010年10月9日(土) 鳥取県米子市 2010年11月6日(土) 東京都江東区 2010年11月20日(土) 北海道札幌市 2010年12月23日(木・祝) 岡山県岡山市 2011年1月8日(土) 千葉県千葉市 各開催地とも 10:00~17:00
主催等	主催： 全開催地 金融広報中央委員会 高知 高知県金融広報委員会、高知県、高知市 三重 三重県金融広報委員会、三重県、四日市市 鳥取 鳥取県金融広報委員会、鳥取県、米子市 東京 東京都金融広報委員会 北海道 北海道金融広報委員会 岡山 岡山県金融広報委員会、岡山県

	<p>千葉 千葉県金融広報委員会、千葉県、千葉市 後援：文部科学省、消費者庁、金融庁、日本銀行、日本 P T A 全国協議会、 全国公民科・社会科教育研究会、全国家庭科教育協会 開催地の都道県教育委員会および開催地の市教育委員会</p>
内 容	<p>1 . 講演会 <対象>大人 <定員>950名(東京) 300名(高知、三重、鳥取、北海道、岡山) 400名(千葉) <内容>各界第一線でご活躍中の方々を講師にお迎えし、金融知識普及ないし金融教育をテーマにわかりやすく語っていただきました。また、2人の講師によるトークセッションも開催しました(高知、鳥取、岡山)。</p> <p>【高知】 「ダニエルが語るお金の魅力」 講師 ダニエル・カール(翻訳家・タレント、山形弁研究家) 「老後を安心して暮らすために」 講師 和泉 昭子(ファイナンシャルプランナー、生活経済ジャーナリスト)</p> <p>【三重】 「長寿社会を安全・安心に暮らすために」 講師 住田 裕子(弁護士)</p> <p>【鳥取】 「長寿社会を安全・安心に暮らすために」 講師 住田 裕子(弁護士) 「消費者トラブルの被害に遭わないために」 講師 村 千鶴子(弁護士、東京経済大学教授)</p> <p>【東京】 「賢い消費者をつくる教育」 講師 宇都宮 健児(弁護士) 中島 隆信(慶應義塾大学商学部教授、慶應義塾大学博士<商学>) 荻原 博子(経済ジャーナリスト) ナビゲーター 福澤 朗(フリーアナウンサー)</p> <p>【北海道】 「経済のニュースの読み解き方がわかる話」 講師 細野 真宏(Hosono's Super School 代表)</p> <p>【岡山】 「お金の壺～家計管理のコツ」 講師 山田 真哉(公認会計士・税理士) 「高齢化社会を楽しむ4つの資産」 講師 蟹瀬 誠一(国際ジャーナリスト、明治大学国際日本学部長)</p> <p>【千葉】 「働くことと、脳にとってのお金」 講師 養老 孟司(東京大学名誉教授)</p> <p>2 . 親子のためのお金の広場 (1) おかねの仕事体験 <対象>原則として小学校低・中学年</p>

	<p><定員> 1回 36名（各開催地で3回開催）</p> <p><内容> 中央銀行の仕事やおかねの上手な使い方等について、体験を通して楽しく学びました。</p> <p>中央銀行業務の体験コーナー</p> <p>参加した子どもたちは、中央銀行の見習い職員として、グループごとに貨幣マスを使ったコインの選別と、破れたお札を新しいお札と交換できるかどうかの判定業務を体験し、働いた報酬としてお給料（模擬貨幣）を受け取りました。</p> <p>カレー作りゲーム</p> <p>「中央銀行業務の体験コーナー」で得たお給料で、家族のためにカレーの材料を買うというゲームに取組みました。食材の値段を考えながらリストを作成して買い物に挑戦し、限られた予算の中でのおかねの「使い方」を学習しました。</p> <p>*「カレー作りゲーム」監修 あんびる えつこ</p> <p>(2) 豆しばとおかねのことを学ぼう</p> <p><対象> 子どもとその保護者</p> <p><定員> 1回 72名（各開催地で3回開催）</p> <p><内容> 豆しばと一緒に、おかねのことならなんでも知っているおかね博士からおかねのことを学ぶキャラクター・ショーが行われました。子どもたちは、おかねの歴史や紙幣、貨幣のさまざまな話題に興味深く聞き入ったり、おかねに関するクイズに答えたりして楽しくおかねのことを学ぶことができました。また司会進行役のお姉さんと一緒におこづかい帳の付け方を勉強しました。</p> <p>(3) おかねクイズ</p> <p><対象> 5才～中学生まで</p> <p><内容> 会場内のヒントパネルを手がかりに、おかねに関する質問に答えるクイズ。10問中8問以上正解すると「おかね博士認定証」を贈呈しました。</p> <p>(4) おかねについて学ぶコーナー</p> <p><対象> 全ての来場者</p> <p><内容> 小判五十両包み、フェイ（石貨）など珍しい貨幣や金塊のレプリカを展示。思いもよらぬ重さに驚くなど、体験を通じて、お金のことを学びました。</p> <p>(5) 貯金箱作りコーナー</p> <p><対象> 5才～中学生まで</p> <p><内容> 知るばるとのキャラクターが描かれた「車」型または「新幹線」型の特製貯金箱に、好きな色を塗って組み立てました。</p> <p>(6) ビデオ上映</p> <p><対象> 子どもとその保護者</p> <p><内容> ものの価値や健全な生活習慣の重要性などを伝える子ども向けビデオ「ボクの犬小屋日記」「ホシガリ姫の冒険」「100万円あったら、どうする？」「お金は回る くらしと金融」を上映しました。</p>
--	--

	<p>3. 教員向けセミナー【東京会場を除く】</p> <p><対象>教員、および教職を目指す大学生・大学院生</p> <p><定員>48名</p> <p><内容>学校の先生方などを対象に、各開催地における金融・金銭教育研究校等より実践事例を披露いただくなど、金融教育の目的と意義を学んでいただく機会を設定しました。</p> <p>講話</p> <p>金融教育に関する有識者の方々に、金融教育の考え方や進め方などについてお話しいただきました。</p> <p>【高知、三重】</p> <p>「新学習指導要領における金融教育の進め方」</p> <p>講師 大杉 昭英（岐阜大学教育学部教授）</p> <p>【鳥取、岡山】</p> <p>「学校における金融教育の効果的な進め方」</p> <p>講師 工藤 文三（国立教育政策研究所初等中等教育研究部長）</p> <p>【北海道、千葉】</p> <p>「学校における金融教育の進め方」</p> <p>講師 北 俊夫（国土館大学教授）</p> <p>実践報告</p> <p>金融教育に取組まれている先生方に、実践事例をお話しいただきました。</p> <p>【高知】</p> <p><1>「ススメ！ケラの金銭教育」</p> <p>講師 吉村 恵一（高知県高知市立介良小学校校長）</p> <p><2>「高校で本当に必要な学びとは何か～スキルとネットワークの形成をキーワードに授業を変える～」</p> <p>講師 井沼 淳一郎（大阪府立福泉高等学校教諭）</p> <p>【三重】</p> <p><1>「中学校におけるキャリア教育の実践発表」</p> <p>講師 中川 克巳（三重県津市立一身田中学校教諭）</p> <p><2>「移動教室でのおみやげ購入を通じた実践的な金融教育の展開」</p> <p>講師 小関 禮子（帝京大学教職大学院講師）</p> <p>【鳥取】</p> <p><1>「平成20年・21年の金融教育研究校としての活動～活きた金融教育を目指して・地域と共に～」</p> <p>講師 塚本 保夫（米子松蔭高等学校教諭）</p> <p><2>「地域の特色を生かした金融教育への試み～多教科・多領域での授業実践から～」</p> <p>講師 今岡 正治（島根県奥出雲町立仁多中学校教諭）</p> <p>【北海道】</p> <p><1>「移動教室のおみやげ購入でのお金の使い方を学ぼう～事前準備を充実して楽しく学ぶ工夫～」</p> <p>講師 小関 禮子（帝京大学教職大学院講師）</p> <p><2>「家計のシミュレーションゲームと模擬商談」</p> <p>講師 三枝 利多（東京都目黒区立目黒中央中学校教諭）</p> <p>【岡山】</p> <p><1>「各教科およびキャリア教育を踏まえた金融教育の取組み～実践例</p>
--	--

～」
講師 佃 和典（岡山県立倉敷商業高等学校商業科主任）
<2>「自己資金で科学の祭典を開催しよう」
講師 藤本 勇二（武庫川女子大学講師）

【千葉】

<1>「『お金』にかわるもの」
講師 山崎 二朗（千葉市教育委員会）
<2>「普通高校における金融教育の取り組み～社会科と家庭科の視点から～」
講師 原口 みどり（千葉県立四街道高等学校教諭）

ワークショップ

金融教育、金銭教育について経験豊富な講師より、必要なものと欲しいものの違いに関する話や、世界のお札（紙幣）を使った授業など実践のヒントになる手法の紹介がありました。

【高知、鳥取、岡山、千葉】

テーマ「世界一おもろいお金の授業！必要なモノと欲しいモノ」
講師 いちのせ かつみ（ファイナンシャルプランナー、生活経済ジャーナリスト）

【三重、北海道】

テーマ「お金のことを楽しく正しく伝える体験型授業」
講師 あんびる えつこ（生活経済ジャーナリスト、「子供のお金教育を考える会」代表）

4. 金融教育セミナー【東京、北海道、岡山、千葉】

<対象>大人

<定員>各講座約 50～100 名

<内容>当委員会の関係・協力団体を中心に講師を依頼し、金融・経済・教育の身近なテーマに関するセミナーを、東京会場では 20 講座、北海道、岡山、千葉会場では 4 講座、開催しました。

【東京】

ライフプランニングとファイナンシャルプランニング
(社)金融財政事情研究会

親子で学ぶお金の話

あんびる えつこ（生活経済ジャーナリスト、「子供のお金教育を考える会」代表）

トラブルの無い金融商品取引を行うための基礎知識

日本証券業協会

消費者の金融トラブルを防ぐ！

(社)全国消費生活相談員協会

家計を守るファイナンシャル・プランニング！FPの活用法

(NPO法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

生命保険の仕組みと役割

(財)生命保険文化センター

マネートラブルにかつ！

(社)全国労働金庫協会

お支払いは？現金ですかクレジットですかそれとも「チャリーン」？

(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会

	<p>初めての投資信託教室～魅力と活用方法について～</p> <p>(社)投資信託協会</p> <p>はじめてみよう証券投資</p> <p>(社)日本証券アナリスト協会</p> <p>難しそうだけれど難しくないちょっと楽しい金融クイズ</p> <p>金融広報中央委員会</p> <p>預金保険制度について</p> <p>預金保険機構</p> <p>東京証券取引所とは何か？～株式会社と証券市場の仕組み～</p> <p>(株)東京証券取引所グループ</p> <p>やさしく学ぶ 投資信託の特徴とリスク</p> <p>(NPO法人)証券学習協会</p> <p>Jリートの基礎</p> <p>(社)不動産証券化協会</p> <p>おかねの話～日本のお金の歴史</p> <p>日本銀行金融研究所貨幣博物館</p> <p>株式投資の基礎知識</p> <p>(NPO法人)投資と学習を普及・推進する会</p> <p>日本銀行の役割と景気の見方</p> <p>日本銀行情報サービス局</p> <p>金融犯罪にご用心！～金融犯罪の手口と対策～</p> <p>全国銀行協会</p> <p>損害保険の基礎知識</p> <p>(社)日本損害保険協会</p> <p>【北海道】</p> <p>こう立てよう！我が家的生活設計 幸せな未来をこの手に</p> <p>(NPO法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会</p> <p>損害保険の基礎知識</p> <p>(社)日本損害保険協会北海道支部</p> <p>今、消費者に求められる「金融リテラシー」とは？</p> <p>(社)全国消費生活相談員協会</p> <p>株式投資の基礎知識</p> <p>日本証券業協会</p> <p>【岡山】</p> <p>金融犯罪にご用心！～金融犯罪の手口と対策～</p> <p>全国銀行協会</p> <p>株式投資の基礎知識</p> <p>日本証券業協会</p> <p>こう立てよう！我が家的生活設計 幸せな未来をこの手に</p> <p>(NPO法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会</p> <p>こんな商法あんな商法より我が身を守る</p> <p>(社)全国消費生活相談員協会</p> <p>【千葉】</p> <p>金融犯罪にご用心！～金融犯罪の手口と対策～</p> <p>全国銀行協会</p>
--	---

	<p>エンディングノート・遺言より気楽に作成できるんです！</p> <p>千葉県金融広報委員会</p> <p>株式投資の基礎知識</p> <p>日本証券業協会</p> <p>給与明細から見える税金・社会保険</p> <p>千葉県金融広報委員会</p> <p>5. 金融教育資料提供コーナー</p> <p><対象>全ての来場者</p> <p><内容>主催者ならびに協力団体の金融知識や金融教育に関する刊行物を提供しました。</p>
--	--

(「金融教育フェスティバル 2010」参照先)

<http://www.shiruporuto.jp/event/2010/10fest/index.html>

講演会（東京会場）「賢い消費者をつくる教育」



親子のためのおかねの広場～おかねの仕事体験
「中央銀行業務の体験コーナー」 「カレー作りゲーム」



親子のためのおかねの広場
「豆しばとおかねのことを学ぼう」 「貯金箱作りコーナー」



© DENTSU INC.

教員向けセミナー



(2)「金融教育公開授業」の開催

【目的】

学校で実施される金融教育関連の実際の授業を、教育関係者、保護者、地域住民等多くの方々にご覧いただくことで、金融教育の重要性を広く理解していただくことを目的としています。

【内容】

金融・金銭教育研究校を中心に、実際の授業を参観していただくとともに、金融教育の専門家による講演等を併せて行う催しです。本事業は2005年度に開始して以来6年目を迎え、全国20か所の幼稚園、小学校、中学校、高等学校において開催しました(2005~2010年度累計で169か所で開催)。

(敬称略)

開催日	開催校名	公開授業講師	公開授業内容
		講演講師	講演テーマ・内容
2010年 6月25日(金)	小竹町立 小竹中学校	同中学校教員	「国際為替相場の仕組みについて知ろう」、「世界の国々とお金との関わり」、「自分で作ったタマネギを販売しよう」(2年生対象)
		同中学校教員発表	実践発表「金融感覚に基づく望ましい価値判断のできる生徒の育成」
		ダニエル・カール (翻訳家・タレント、 山形弁研究家)	「金融教育を考える~日米の生活体験を通じて~」
9月3日(金) および 9月24日(金)	長崎大学 教育学部 附属中学校	同中学校教員	「金利って何?」(2・3年生対象)
		いちのせかつみ (ファイナンシャル プランナー、生活経済ジャーナリスト)	「世界一おもしろい経済学」
10月4日(月)	神奈川県立 相模田名 高等学校	同高等学校教員	「お金の話 - 金利について学ぼう」(1年生対象、現代社会)
		細野真宏 (Hosono's Super School 代表)	「そんなの関係ねえ?!君たちが金融・経済を学ぶワケ」

開催日	開催校名	公開授業講師	公開授業内容
		講演講師	講演テーマ・内容
10月6日(水)	八幡浜市立 真穴中学校	同中学校教員	「やってみよう！ひとり暮らしのシミュレーション」(3年生対象)
		いちのせかつみ (ファイナンシャルプランナー、生活経済ジャーナリスト)	「キミは狙われている！本当にこわい“お金”の話」
10月14日(木)	越前市 服間小学校	同小学校教員	<p>「しごとめいじんになれるかな」(1年生対象) 「わくわくエコフェスティバルへようこそ」(2年生対象) 「スーパーマーケットではたらく人」(3年生対象) 「ゴミから考えるエコな生活」(4年生対象) 「お店やさんを開こう」(5年生対象) 「修学旅行で特産物を販売しよう」(6年生対象) 「もののいのちをたいせつにしよう」(特別支援学級対象)</p>
		いちのせかつみ (ファイナンシャルプランナー、生活経済ジャーナリスト)	「お・か・ねって？ し・ご・とって？」
10月20日(水)	津市立 一身田 中学校	同中学校教員	<p>「会社をつくろう～試作品のプレゼンを成功させよう～」(1年生対象) 「ドリームマップ～14歳のジョブチャレンジから～」(2年生対象) 「自立した社会人になるために」、「利息について考えよう」、「中学生はもう大人？まだ子ども？」、「お金と人生と自分の関係」、「時給と年収の関係」(3年生対象)</p>
		同中学校生徒発表	生徒実践発表
		コーディネーター 山根栄次(三重大学教授)	
		ダニエル・カール (翻訳家・タレント、 山形弁研究家)	「金融教育を考える～日米の生活体験を通じて～」

開催日	開催校名	公開授業講師	公開授業内容
		講演講師	講演テーマ・内容
11月5日(金)	岡山県立倉敷商業高等学校	同高等学校教員	<p>「金融機関のはたらき」(1年生対象、現代社会) 「代金決済の方法」(1年生対象、ビジネス基礎) 「生活を設計する」(2年生対象、家庭総合) 「借金で苦しまない為に！」、「ライフプランの作成」(3年生対象、課題研究)</p>
		いちのせかつみ (ファイナンシャルプランナー、生活経済ジャーナリスト)	「知らんとアカン！お金の怖~い話」
11月9日(火)	大分県立臼杵商業高等学校	同高等学校教員	<p>「日本銀行の業務と金融政策」(2年生対象、商品と流通) 「代金の決済」(3年生対象、総合実践)</p>
		住田裕子(弁護士)	「金融トラブルから身を守ろう」
11月13日(土)	上野原市立桐原小学校	同小学校教員	<p>「ゆずっこフェスティバルをしよう」(低学年対象) 「働くことについて考えよう」(6年生対象)</p>
		同小学校教員発表	研究発表「社会を生き抜く力をもった児童の育成をめざして～勤労を尊ぶ学習を通して、人・もの・お金を大切にする心を育てる～」
		陣内恭子 (金銭教育総合研究所「マネーじゅく」代表)	「こころを育てるお金のはなし～親子でおこづかいゲームをやってみよう～」
11月19日(金)	神戸市立小部東小学校	同小学校教員	<p>「こころのたからもの」(1年生対象) 「にじいろのさかな」(2年生対象) 「生活ゲームをしよう」(3年生対象) 「働く者」(4年生対象) 「暮らしにかかるお金はいくら」(5年生対象) 「欲しいもの 必要なもの」(6年生対象) 「お店やさんごっこ」(特別支援学級対象)</p>
		同小学校校長発表	研究発表「みんなで発見！お金のひみつ～正しいお金の使い方、物を大切にする心について学ぶ授業づくり～」
		いちのせかつみ (ファイナンシャルプランナー、生活経済ジャーナリスト)	「子どもはお金が好きやねん～今、お金の教育が必要なワケ～」

開催日	開催校名	公開授業講師	公開授業内容
		講演講師	講演テーマ・内容
11月26日(金)	菊川市立 菊川西 中学校	同中学校教員	<p>「プラスチックの性質」、「お金を上手に使おう」、「本の帯は何のために書かれているか考えよう」、「お母さんの手（節度ある生活態度）」、「家計のシミュレーション」（1年生対象）</p> <p>「著作権について知ろう」、「根拠を明らかにして書こう～意見を伝える～」、「世界恐慌」、「社会に必要とされる人になりたい（勤労・社会への奉仕）」、「お金にかかるポスター作り」（2年生対象）</p> <p>「どの電球のコストが一番安いのか」、「私の命を育んだお金はいくら？」、「買い物上手になろう」、「電子マネー」、「貯蓄する？株式を買う？」（3年生対象）</p> <p>「悪質商法について」（特別支援学級対象）</p>
		同中学校教員発表	研究発表
		あんびるえつこ (生活経済ジャーナリスト、「子供のお金教育を考える会」代表)	「子どもの金銭感覚を養うお金の教え方」
12月2日(木)	東松島市立 矢本中央 幼稚園	同幼稚園教諭	「かいてんじゅんびだ、みんなのおみせ！」 (全園児対象)
		同幼稚園教諭発表	研究発表「『ありがとう』の心を育てる～人やものとのかかわりを深める環境構成と援助の工夫を通して～」
		ダニエル・カール (翻訳家・タレント、山形弁研究家)	「金銭教育を考える～日米の生活体験を通じて～」
12月2日(木)	滋賀大学 教育学部 附属中学校	同中学校教員	「くらしと経済～家計・お金の付き合い方～」 (3年生対象)
		栗本大介 (金融広報アドバイザー、ファイナンシャルプランナー)	「知っておきたい！お金の話」
12月9日(木)	北海道 札幌東商業 高等学校	同高等学校教員	「代金決済手段としての小切手について」 (1年生対象、ビジネス基礎)
		住田裕子（弁護士）	「金融トラブルから身を守るために」

開催日	開催校名	公開授業講師	公開授業内容
		講演講師	講演テーマ・内容
2011年 1月 20日(木)	学校法人 福井佼成学園福井佼成幼稚園	同幼稚園教諭	「貯金箱作り」(年少組) 「お年玉の使い道」(年中組) 「働く人の事を知る」(年長組) 「お店屋さんごっこ」(全園児)
		いちのせかつみ (ファイナンシャルプランナー、生活経済ジャーナリスト)	「未来を託す子どものために～今、金銭教育が必要なワケ」
2月 2日(水)	多度津町立四箇小学校	同小学校教員	「お金を大せつにつかおう」(1年生対象) 「お金の世界をウォッキング、シンキング、トーキング！」(5年生対象)
		同小学校教員発表	研究発表「豊かな感性と確かな価値観をはぐくみ、自ら働きかける子どもの育成～人やモノ、自然を大切にし、自ら働きかける活動を通して～」
		あんびるえつこ (生活経済ジャーナリスト、「子供のお金教育を考える会」代表)	「子どもたちに健全な金銭感覚を養うための学校と家庭の役割」
2月 5日(土)	高知市立介良小学校	同小学校教員	「ちょきんをしよう～ちょきんばこ作り～」(1年生対象) 「大きくなった自分をみつめよう」(2年生対象) 「昔の暮らしと今の暮らし」(3年生対象) 「命やものの大切さを考えよう」(4年生対象) 「ケイタイのひみつを知ろう～かしこい消費者になるために～」(6年生対象) 「おいしいおやつの販売に向けて(特別支援学級対象)
		いちのせかつみ (ファイナンシャルプランナー、生活経済ジャーナリスト)	公開授業「欲しいモノと必要なモノ！賢いお金の使い方」(5年生対象)
		いちのせかつみ	「子どもはお金が好きやねん 今、金融教育が必要なワケ」

開催日	開催校名	公開授業講師	公開授業内容
		講演講師	講演テーマ・内容
2月16日(水)	高知県立伊野商業高等学校	同高等学校教員	「観光がもたらす高知県への経済効果～龍馬伝、その前、その後～」(2年生対象、国際観光科)
		同高等学校教員発表	実践発表「体験的学習をメインにした金融教育の取組み」
		加賀屋克美 (㈲加賀屋感動ストアーマネージメント代表取締役)	「日米のディズニーで学んだ感動のサービス」
2月18日(金)	観音寺市立観音寺東小学校	同小学校教員	「めざせ 仕事名人」(1年生対象) 「お金に変身！」(2年生対象) 「お店屋さんをひらこう！」(3年生対象) 「二分の一成人式」(4年生対象) 「討論をしよう『お金の大切さについて考える』」(5年生対象) 「中学に入学する費用っていくらかかるの？」(6年生対象) 「まかせて 買い物」(5年生特別支援学級対象) 「感謝の気持ちを表そう」(6年生特別支援学級対象)
		同小学校教員発表	研究発表「ものやお金、人とのかかわりを大切にし、よりよい生活をめざそうとする児童の育成」
		いちのせかつみ (ファイナンシャルプランナー、生活経済ジャーナリスト)	「親子で考えよう！ものやお金、人を大切にする気持ち」
2月19日(土)	三豊市立詫間中学校	同中学校教員	「野菜に値段をつけよう」(1年生対象) 「ボクらの労働 How much?」(2年生対象)
		同中学校教員発表	研究発表「好ましい金銭感覚を身に付け、積極的に社会と関わろうとする生徒の育成」
		いちのせかつみ (ファイナンシャルプランナー、生活経済ジャーナリスト)	「本当に怖~いお金のはなし」

(「金融教育公開授業」参照先)

<http://www.shiruporuto.jp/event/2010/10jugyo/index.html>

(3)「教員のための金融教育セミナー」の開催

【目的】

小学校・中学校・高等学校等の先生方に、金融教育の意義・必要性について理解、認識を深めていただき、学校の授業などにおける、より効果的な指導・実践方法を共有し、さらに発展させていただくことを目的としています。

【内容】

金融教育の実践事例紹介やこれに基づくワークショップ、関連テーマでのパネル・ディスカッションなどを組み合せたセミナーで、本年度で通算12回目の開催となります。午前は金融教育に関する有識者によるパネル・ディスカッション、午後は、小学校・中学校・高等学校の3分科会に分かれて、当委員会の金融教育関連刊行物に執筆いただいた先生方などによる金融教育の実践報告とワークショップを行いました。

(敬称略)

行事名	平成22年度「教員のための金融教育セミナー」
日 時	2010年8月9日(月)9:30~16:30
主催等	主催：金融広報中央委員会 後援：文部科学省、金融庁、東京都教育委員会、日本銀行、全国公民科・社会科教育研究会、全国家庭科教育協会
内 容	<p>【来賓挨拶】 来賓：樺原 哲哉(文部科学省初等中等教育局教育課程課学校教育官)</p> <p>【パネル・ディスカッション】 「金融教育のあり方と学校における実践」</p> <p>文部科学省 樺原 哲哉 初等中等教育局教育課程課学校教育官 帝京大学教職大学院 小関 禮子 講師 石川県能美市立根上中学校 朝倉 京子 教諭 東京都立西高等学校 篠田 健一郎 主任教諭 (コーディネーター) 金融広報中央委員会事務局長 大川 昌利</p> <p>【分科会1(小学校)】 進行およびコメント：北 俊夫(国士館大学 教授)</p> <p>報告・ワークショップ(1) 「工夫しよう！かしこい生活 ～お金の上手な使い方を考える～」 報告者：高橋 幸信 佐賀県唐津市立大良小学校 教頭)</p> <p>報告・ワークショップ(2) 「自己資金で科学の祭典を開催しよう ～働くことの意味を考える～」 報告者：藤本 勇二(武庫川女子大学 講師)</p>

	<p>【分科会2(中学校)】</p> <p>進行およびコメント: 大杉 昭英(岐阜大学教育学部 教授)</p> <p>報告・ワークショップ(1) 「お金にまつわるトラブル防止ポスターをつくろう ~金銭問題に関する防衛策を学ぼう~」 報告者: 木尾 栄次(福岡県春日市立春日野中学校 教諭)</p> <p>報告・ワークショップ(2) 「『お金』にかわるもの ~クレジットカードと上手に関わるには~」 報告者: 山崎 二朗(千葉市教育委員会)</p>
	<p>【分科会3(高等学校)】</p> <p>進行およびコメント: 工藤 文三(国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長)</p> <p>報告・ワークショップ(1) 「クルマの“窓”から経済をのぞいてみよう ~企業の役割と経済活動の在り方~」 報告者: 大山 敏(東京都教育庁指導部 高等学校教育指導課 指導主事)</p> <p>報告・ワークショップ(2) 「主体的に判断し行動できる消費者をめざして ~副教材を活用して実践的・体験的に学ぼう~」 報告者: 河合 成子(岐阜県立大垣北高等学校 教諭)</p>

(「教員のための金融教育セミナー」参照先)

<http://www.shiruporuto.jp/event/2010/10semi/index.html>

(4) 「消費者教育フェスタ」への参加

【目的】

「消費者教育フェスタ」は、社会教育および大学における消費者教育の推進のため、官民の様々な主体が実施している消費者教育の取組等を、地方公共団体、大学等の関係者等に紹介することを目的に、文部科学省主催で2010年度に初めて開催されました。当委員会も、これまでの取組みを紹介する目的で参加しました。

【内容】

開催期間中の2011年2月22日(火)23日(水)には、文部科学省講堂ホワイエ等において当委員会の活動内容を紹介したパネル展示および教材の展示、配布を行いました。2月23日(水)に行われた「消費者教育に関する研究協議会・中央説明会」

の学校教育分科会では、当委員会より派遣した帝京大学教職大学院小関禮子専任講師による、「移動教室でのみやげ購入でお金の使い方を学ぼう」と題した模擬授業を実施しました。

(5)「消費者教育推進事業」への参画

【目的】

文部科学省が実施している「消費者教育推進事業」に協力するため、以下の講義を行いました。

【内 容】

文部科学省より同省「消費者教育推進事業」に関する依頼を受けて、2010年11月24日(水)当委員会事務局スタッフが東北大学において、学生等を対象に講義(テーマ「適切な金銭管理で築くあなたの未来」)を行いました。

2. 啓発資料・教材、情報発信

(1) 教育に関する授業のDVD製作・配付

【目的】

金融教育の実践事例を映像として紹介することを通じて、授業のイメージを教育関係者に伝え、学校現場においてより多くの方に金融教育の授業を実践いただくことを目的としています。

【内容】

小学校、中学校、高等学校における5つの取組みを紹介するとともに、「金融教育とは」「研究校とは」を簡単に解説しています。また、付属の小冊子において授業の目標やねらい、指導上の留意点を掲載しました。

製作したDVDは、都道府県金融広報委員会事務局に備付け、教育関係者向けに貸出サービスを行います。

(敬称略)

タイトル	「見てわかる!金融教育 授業の進め方」(約64分)
内容	「カレー作りゲーム」(約8分) 高知市立介良小学校(高知県) 「私の命を育んだお金はいくら?」(約10分) 菊川市立菊川西中学校(静岡県) 「会社をつくろう」(約9分) 津市立一身田中学校(三重県) 「悪質商法にひっかかるないで!」(約10分) 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校(新潟県) 「子どもたちの商店街」(約7分) 明晴学園(東京都) 「金融教育とは」(約12分) 「研究校とは」(約8分)
協力 (上記 撮影校 を除く)	生活経済ジャーナリスト あんびるえつこ 生活経済ジャーナリスト いちのせかつみ 金銭教育総合研究所「マネーじゅく」代表 陣内恭子 横浜国立大学 教授 西村隆男 上野原市立桐原小学校

(「見てわかる!金融教育 授業の進め方」参照先)

<http://www.shiruporuto.jp/about/siryo/video/video003.html>

(2) 「金融商品なんでも百科」の改訂・発行

【目的】

消費者にとって、自分のライフプランやリタイアメントプランとニーズに適合した金融商品や金融機関を、適切に「自己責任」で選択することが必要になっています。こうした選択を適切に行っていくために、それぞれの金融商品のメリットやリスク、金融トラブルを回避するための基礎知識などについて解説した啓発資料です。

「金融商品なんでも百科」は、2年に1回のペースで改訂しており、今年度は「平成23・24年用」として改訂しました。

【内容】

金融商品選択にあたっての考え方や、消費者が利用できる主な金融商品について、選び方のポイントや、それぞれの基本的特徴、リスク、税金、関連する法律などについて、中立・公正な立場からわかりやすく解説しています。さらに、金融商品や金融トラブルに関する問い合わせ先、インターネット上のホームページも紹介しています。「平成23・24年用」は、次の構成で作成しています。

第1部：金融商品の選び方・組合せ方

- ・金融商品の選び方・組合せ方
- ・金融商品を巡る環境の変化と自己責任時代
- ・ライフプランにあった金融商品を選ぶ方法
- ・金融機関破たん時の金融商品の保護について
- ・金融機関選びのポイント

第2部：金融商品大百科

- ・預貯金、ゆうちょ銀行の貯金、信託、公社債、株式、投資信託、保険・共済、財形貯蓄
- ・金融商品と税金
- ・ローン（住宅ローン以外）クレジット、住宅ローン

参考情報：金融なんでも情報

- ・暮らしに身近なおかねについてのホームページ
- ・金融取引に関する相談 等

(3)「くらし塾 きんゆう塾」の季刊発行

【目的】

金融広報中央委員会の広報誌としての位置付けで、幅広い層を対象に、当委員会の目指す金融広報および金融教育の考え方や当委員会活動をわかりやすく伝えることを目的に、3か月に1回発行しています。とくに、2010年度は、若者向けの「まんが わたしはダマサレナイ！！」(携帯電話やインターネットによる金融トラブル防止) シニア層向けの「そこが知りたい！くらしの金融知識」(老後の生活設計) 障がい者への金融教育の実践事例を取り上げた「金融教育の現場レポート」など、対象層を意識してきちんと情報が伝わるように記事の内容、伝え方を工夫しました。

【内容】

本年度は、次の構成で作成しました。

狙いの分類	構成内容
金融知識等の解説	<ul style="list-style-type: none">・まんが わたしはダマサレナイ！！ 「架空請求詐欺」、「インターネットショッピング現金化トラブル」、「未成年者のサイトアクセス、契約による高額請求トラブル」、「今までと違う！新手の未公開株取引詐欺」・そこが知りたい！くらしの金融知識 「今どきの電子決済とは？」、「老後の生活を考える（1）～快適な老後のための準備」、「老後の生活を考える（2）～『独りの老後』に備える」、「初心者のためのインターネットバンキング」など
金融教育の実践事例紹介	<ul style="list-style-type: none">・金融教育の現場レポート
当委員会の考え方を伝える記事	<ul style="list-style-type: none">・巻頭インタビュー（生きる力を考える内容等）・くらしの中の金融経済学に関する連載エッセイ・「くらしを気持ちよく」（快眠法、掃除、旬の食べ物、衣服の手入れ）、「あたらしい歳時記」（ヒートアイランドと夏の風物詩、ハロウィンとライトアップ、バレンタインデーと恵方巻、黄砂と花粉症）
当委員会の活動を紹介する記事	<ul style="list-style-type: none">・中央委員会の活動紹介・各地委員会事務局員の活動紹介、金融広報アドバイザーの誌上公開講座・知るぽるとライブラリー・「おかねのね」の紹介

(4) ビデオの貸出

【目的】

金融経済情報の提供や金融経済学習の支援に関して、視聴覚教材を用いてよりわかりやすく効果的に行うことの目的としています。

【内容】

視聴覚教材として作成・購入したビデオ教材を、都道府県金融広報委員会、日本銀行支店・事務所を通じて一般の方々へ貸出しています。また、一部の作品については、当委員会のホームページで視聴することも可能です。

【2010年度中に貸出した主なビデオ】

題名
ホシガリ姫の冒険
UFOにつかまつた子供たち
100万円あつたら、どうする？
お金って何？～リスクと自己責任～
契約って何？～消費者としての自立～
ビッグバンファミリー
Vol.1【金融ビッグバンってなに？】
Vol.2【金融商品・金融機関の選び方】
ボクの犬小屋日記
アナタを狙うあまい罠～若者編～
お金は回る～くらしと金融～
多重多額債務への道～パチンコ破産～
悪徳商法手口集

(5) 各種メディアを通じた情報発信の促進

【目的】

金融広報中央委員会の活動内容の紹介や“知るばると”(金融広報中央委員会の愛称)の知名度向上を目的として行っているものです。

【内 容】

費用対効果の観点から、金融教育フェスティバル等、イベントの告知に合わせて、“知るばると”を情宣しました。媒体としては、引き続き新聞折込みチラシを活用したほか、無償パブリケーション（雑誌への寄稿や取材協力等）を強化しました。

(6) ホームページを通じた情報発信

【目的】

当委員会では、暮らしに役立つ身近な金融経済情報をタイムリーにかつ幅広く提供するため、1997年度からホームページを開設しています。

【内 容】

本年度は、ホームページコンテンツを幅広く見直し、内容の改訂やスクラップ＆ビルトを行いました。また、刊行物改訂に伴う更新やイベント告知など、毎月約20件の新着情報を配信しました。本年度のアクセス件数は、累計1,188万件、1日平均3万3千件（前年度は1日平均3万6千件）となりました。

東日本大震災発生後には、災害時における金融上の特別措置などの緊急情報を他のサイトへのリンクを活用しつつ、発信しました。

【トップページ】

3. コンクール

(1) 「金融教育を考える」小論文コンクール

【目的】

学校教育における「金融教育」の重要性が指摘される中、「金融教育」のあり方に關して、学校教育関係者に關心を高めていただき、また、議論を深める契機としていたくことを目的に、金融経済教育に関する実践報告や研究結果、提言などをテーマとする小論文コンクールを実施しました。

【内容】

全国の幼稚園教諭、小学校・中学校・高等学校教諭、教職を目指す大学生・大学院生、大学教員など研究者を対象に、金融経済教育に関する実践報告や研究結果、提言などを小論文形式で募集しました。当コンクールは本年度で7回目となります。

【審査員】

(敬称略)

阿部信太郎	城西国際大学准教授
宇都宮健児	弁護士
工藤 文三	国立教育政策研究所初等中等教育研究部長
西村 隆男	横浜国立大学教授
牧野カツコ	お茶の水女子大学名誉教授
行成 卓巳	NHK制作局第2制作センター経済・社会情報番組部長
須田美矢子	日本銀行政策委員会審議委員
小林 信介	金融広報中央委員会会長

【応募状況と審査結果】

本年度の応募総数は25編でした(前年度も25編)。審査の結果は以下のとおり、特賞1編、優秀賞2編、奨励賞5編を入賞作品として表彰しました。

【表彰論文】

(特賞) 1編

(敬称略)

入賞者	作品名
大阪府 豊中市立刀根山小学校 谷本 千保	マネー・コンピテンシーの育成を目指した単元開発 「コミュニケーション・メディア」としての貨幣 から“つながり”をみつめる活動を通して

(優秀賞) 2編

(敬称略)

入賞者	作品名
北海道教育大学・北洋銀行金融教育 プロジェクト 研究統括 北海道 北海道教育大学教育学部教授 鎌田 浩子 北海道 北海道教育大学教育学部准教授 川邊 淳子 北海道 北海道教育大学教育学部講師 濱地 秀行 北海道 (株)北海道二十一世紀総合研究所 調査部研究員 小林 あい 北海道 北海道登別明日中等教育学校 秋山 玲奈 北海道 札幌市立山鼻中学校 太田 和幸 北海道 釧路市立幣舞中学校 大西 康史 北海道 北海道教育大学附属旭川中学校 世戸 聰子 北海道 標茶町立虹別小学校 野口 泰秀	金融教育ができる教員を養成しよう 北海道教育大学と北洋銀行のチャレンジ
東京都 上智大学経済学部教授 川西 諭	仮想取引体験授業の有効性と問題点 行動経済学的な視点から

(奨励賞) 5編

(敬称略)

入賞者	作品名
秋田県 由利本荘市立上川大内小学校 土田 静子	夢を描き、その実現に向けて努力する子どもの育成 ～人やもの、お金を大切にする心や態度を育てる金 銭教育を通して～
神奈川県 神奈川県立平塚養護学校 中山 律子	仕事をする、お金を稼ぐ 「作業」という授業に思う
神奈川県 横浜市立潮田中学校 力丸 剛	“たとえ話”や“疑問？”から始める金融・経済教育 仕組みや働きを骨太に理解し、概念的枠組みから 金融・経済を捉える授業
山梨県 富士河口湖町立西浜小学校 小林 広美	自分たちで仕入れて販売しましょ！ ～小学6年生(18名)による仮想会社「足和田コー ポレーション」経営～
大分県 佐伯市立上入津小学校 斎藤 貴雅	子どもの心に残る「金銭教育」をめざして ～「社会見学プラン作り」と「映画製作プロジェクト」の取組みを通して～

(「金融教育を考える」第7回小論文コンクール参考先)

<http://www.shiruporuto.jp/teach/school/kyoin2010/index.html>

(2)「金融と経済の明日」高校生小論文コンクール

【目的】

高校生・高等専門学校生に、金融や経済について関心を持っていただき、自身の考えを論理的に記述することを通じて思考力や表現力を高めていただくことを目的としています。

【内容】

高校生および高等専門学校生を対象に6つのテーマを設け、小論文形式で募集しました。本年度で8回目となります。

【募集テーマ】

- (1)あなたのライフプランと働くことについて考え方
- (2)超高齢社会におけるこれからの年金・保険
- (3)世界における日本の経済について考える
- (4)日本経済を活性化する将来有望な産業とは
- (5)消費者としてのルール
- (6)その他(自由テーマ)

【審査員】

(敬称略)

伊藤元重	東京大学大学院経済学研究科教授兼任総合研究開発機構理事長
細野真宏	Hosono's Super School 代表
櫻井純子	聖学院大学非常勤講師
長嶋俊行	金融庁総務企画局政策課課長補佐
永井克昇	文部科学省初等中等教育局視学官
清水頭賢二	全国公民科・社会科教育研究会副会長
大川昌利	日本銀行情報サービス局長
小林信介	金融広報中央委員会会長

【応募状況と審査結果】

本年度は学校応募が62校、個人応募が20件で計1,188編の応募をいただきました(前年度は、学校応募64校、個人応募30件で計1,956編)。

審査の結果は以下のとおり、特選5編、秀作5編、佳作50編を入賞作品として表彰しました。このうち、特選、秀作、学校賞^(注)の入賞結果は、次のとおりです(佳作入賞者については当委員会ホームページをご覧ください)。

(注)学校賞は、特選受賞者在籍校にさし上げています。

【表彰論文】

(特選) 5編

(敬称略)

入賞者	作品名
金融担当大臣賞 東京都 中央大学高等学校 3年 安永 望美	これからの消費者を育てるために
文部科学大臣賞 東京都 桜蔭高等学校 1年 濱中 みなみ	世界に誇る「時間の正確さ」を産業化へ
日本銀行総裁賞 福島県 福島県立福島高等学校 1年 鈴木 悠平	今、日本の観光産業について考える
全国公民科・社会科教育研究会会长賞 群馬県 群馬県立前橋高等学校 2年 大澤 阿紋	命の値段
金融広報中央委員会会长賞 東京都 学習院女子高等科 2年 津田 沙也香	超高齢社会の中で年齢という壁を壊す

(秀作) 5編

(敬称略)

入賞者	作品名
福島県 福島県立福島高等学校 1年 阿部 優花	大切なきっかけ
福島県 福島県立福島高等学校 1年 芳賀 泰平	国家目標「最先端国家」を目指せ
東京都 学習院女子高等科 2年 荒木 萌	日本の人口変動とその対策
東京都 学習院女子高等科 2年 紺野 彩希	年金と自助努力
大分県 大分東明高等学校 2年 上田 歩	企業の農業誘致から思う

(学校賞)

東京都 中央大学高等学校
東京都 桜蔭高等学校
福島県 福島県立福島高等学校
群馬県 群馬県立前橋高等学校
東京都 学習院女子高等科

(「金融と経済の明日」第8回高校生小論文コンクール参考先)

<http://www.shiruporuto.jp/teach/yomu/ron2010/index.html>

(3)「おかねの作文」コンクール

【目的】

中学生に金融や経済に興味を持っていただき、それを作文に仕上げることを通じて考える力、伝える力を養っていただくことを目的としています。

【内容】

中学生を対象に 5 つのテーマを設け、作文を募集しました。当コンクールは本年度で 43 回目となります。

【募集テーマ】

- (1) 活きたおかねの使い方
- (2) いま、地域を元気にしている会社や商店について考える
- (3) 私のルール・わが家の約束事
- (4) 将来の夢の実現とおかねの関わり
- (5) その他（自由テーマ）

【審査員】

（敬称略）

岩男篤	金融庁総務企画局政策課金融知識普及係長
永井克昇	文部科学省初等中等教育局視学官
相川敬	（社）日本 P T A 全国協議会会長
茅原直樹	全日本中学校国語教育研究協議会総務部長
國光幸人	日本銀行情報サービス局金融広報課長
水口毅	金融広報中央委員会事務局次長

【応募状況と審査結果】

本年度は学校応募が 612 校、個人応募が 67 件で計 4,662 編の応募をいただきました（前年度は学校応募 588 校、個人応募 78 件で計 4,522 編）。

審査の結果は以下のとおり、特選 5 編、秀作 5 編、佳作 50 編を入賞作品として表彰しました。このうち、特選、秀作、学校賞^(注)の入賞結果は、次のとおりです（佳作入賞者については当委員会ホームページをご覧ください）。

（注）学校賞は、特選受賞者在籍校にさし上げています。

【表彰論文】

(特選) 5編

(敬称略)

入賞者	作品名
金融担当大臣賞 和歌山県 和歌山県立桐蔭中学校 1年 平井 未来	私のルール・わが家の約束事
文部科学大臣賞 京都府 京都府立洛北高等学校附属中学校 3年 市川 葵	お金を「もらう」ということ
日本銀行総裁賞 千葉県 市川中学校 3年 石村 瑞季	力ナダで考えたお金のこと
日本PTA全国協議会会長賞 鹿児島県 鹿児島市立鹿児島玉龍中学校 2年 木田 夕菜	街の笑顔と未来を売る商店街
金融広報中央委員会会長賞 徳島県 徳島市立南部中学校 2年 林 正基	夢を実現するために

(秀作) 5編

(敬称略)

入賞者	作品名
福岡県 明治学園中学校 2年 渡邊 優子	お金に込められた愛情
愛知県 一宮市立尾西第二中学校 3年 飛田 野どか	お金はこわいものか
滋賀県 守山市立守山北中学校 3年 朝尾 朱貴	お金が教えてくれたこと
京都府 京都府立洛北高等学校附属中学校 3年 小松 万希子	「見えないお金」の重み
大阪府 聖母女学院中学校 3年 國枝 美希	新しいお金の使い方

(学校賞)

和歌山県 和歌山県立桐蔭中学校
京都府 京都府立洛北高等学校附属中学校
千葉県 市川中学校
鹿児島県 鹿児島市立鹿児島玉龍中学校
徳島県 徳島市立南部中学校

(第43回「おかねの作文」コンクール参考先)

<http://www.shiruporuto.jp/teach/yomu/saku2010/index.html>

調査研究活動

1. 家計の金融行動に関する世論調査

【目的】

この調査は、金融広報中央委員会が、 家計の資産・負債や家計設計などの状況を把握し、これらの公表を通じて金融知識を身につけることの大切さを広報すること、 家計行動分析のための調査データを提供すること、 の2つを目的として毎年実施しています。

【内容】

この調査については、2007年度に、統計の有用性を高めるため、調査方法の全面的見直しと設問の拡充を実施し、これにあわせて調査名称を変更しました。

本年度は、家計の金融資産・負債や家計設計の状況などについて、全国の二人以上世帯8千世帯を対象に標本抽出調査し、約5割の世帯（4,035世帯）から回答を得たほか、単身世帯調査については、インターネット調査により2,500モニターを対象に調査しました。

・二人以上世帯の調査概要

調査の内容	(主な調査項目) (1) 金融資産の状況等 金融資産の有無、金融資産保有額、内訳等 (2) 金融負債の状況等 借入金の有無、借入金残高、借入の目的等 (3) 実物資産・住居計画 住居の状況、住宅取得必要資金、この一年以内の土地・住宅の取得、増改築、売却の有無等 (4) 生活設計(老後、消費含む) 家計全体のバランス、過去一年間の家計運営、老後の生活についての考え方等 (5) 決済手段 日常的な支払いの主な資金決済手段、月平均手持ち現金残高等 (6) 金融制度等 預金保険制度の認知度、金融機関の選択理由等
調査対象者の抽出方法	層化二段無作為抽出法により全国から500の調査地点を選び、各調査地点から無作為に16の世帯(二人以上世帯)を選ぶことによって計8,000の調査対象(標本)を抽出。

調査の方法	(1) 訪問と郵送の複合・選択式によって調査依頼・回収しました。 (2) 2010 年調査の実施および結果の集計は、(株) 日本リサーチセンターに委託しました。
調査の時期	2010 年 6 月 11 日 (金) ~ 7 月 20 日 (火)
回収状況	標本数 : 8,000 名 回収数 : 4,035 名 回収率 : 50.4 %
調査結果の公表	調査結果は、当委員会のホームページで公表した (2010 年 10 月 22 日) ほか、冊子を作成しました。

・ 単身世帯調査の概要

調査の内容	(主な調査項目) 上記の二人以上世帯調査と同じ。
調査対象モニターの選定方法	(選定方法の概要) ・ 20 歳以上 70 歳未満で、単身で世帯を構成する者。 ・ モニター数は 2,500 を有効回収数として確保する設計とし、直近 (2005 年) の国勢調査の単独世帯データにおける地域・年代・男女別の構成比に基づき回答者割付を行いました。
調査の方法	(1) インターネットモニター調査の方法によって、調査依頼・回収しました。 (2) 2010 年調査の実施および結果の集計は、(株) インテージに委託しました。
調査の時期	2010 年 6 月 18 日 (金) ~ 6 月 29 日 (火)
回収状況	有効回収モニター数 : 2,500 名
調査結果の公表	上記の二人以上世帯調査と同じ。

(「家計の金融行動に関する世論調査」参照先)

二人以上世帯調査 :

http://www.shiruporuto.jp/finance/chosa/kyoron_futari/index.html

単身世帯調査 :

http://www.shiruporuto.jp/finance/chosa/kyoron_tan/index.html

2. 子どものくらしとお金に関する調査

【目的】

この調査は、全国の児童・生徒を対象として、お金にまつわる日常生活、お金に関する意識・行動、金融経済に関する基礎的な知識などを把握することにより、児童・生徒の実態に即した効果的な金融教育の実践や、学校向け教材の作成、各種支援活動などに活用することを目的としています。

第1回の調査は2005年度に実施。今回は5年振りに2回目となる調査を実施しました。調査結果は2011年度(6月)に公表しました。

【内容】

主な調査内容	(1) おこづかい、お年玉 有無、金額、もらう相手、おこづかいの使いみち、足りなくなったときの対処方法等 (2) アルバイト・貯蓄等 アルバイトの経験・考え方、貯蓄の有無、図書カード・電子マネーなどの利用等 (3) 持ち物・携帯電話・インターネットの利用 専用の持ち物、携帯電話の利用金額・用途、インターネットの利用等 (4) 家の人との会話、家事・手伝い 会話の内容・頻度、家庭での家事・手伝い等 (5) お金についての意識、金融経済の知識 お金についての意識や行動、お金や金融経済についての考え方、金融経済の知識等
調査対象校の抽出方法	(1) 公募 (2) 無作為抽出法 (3) 金融・金銭教育研究校など
調査の方法	・調査票による無記名式調査(児童・生徒本人が回答) ・学校を通じた調査(学校に調査を依頼) ・調査票の発送、回収は郵送 ・調査票の送付、回収、結果集計は(株)トランス・コスモスに委託
調査の時期	2010年12月～2011年3月
調査協力校数およびサンプル数	小学校低学年：5,810名 中学校年：6,427名 高学年：8,094名 } (123校) 中学生：20,139名 (128校) 高校生：28,303名 (125校)
調査結果の公表	調査結果は、当委員会のホームページで公表しました (2011年6月17日)

(「子どものくらしとお金に関する調査」(第2回)参照先)

<http://www.shiruporuto.jp/finance/chosa/kodomo2010/index.html>

3. 海外の金融教育の実情調査、国際機関等との情報交換

【目的】

当委員会では、海外における金融教育・金融知識普及活動を巡る状況を紹介することを通じて金融知識を身につけることの大切さを広く国民に伝えるとともに、当委員会の活動の参考とするため、金融教育に関する国際会議への参加や海外の金融教育関連団体の来日などの機会を捉えて、海外における金融教育の動向に関する情報収集・調査を行っています。また、わが国における取組みを海外諸国における金融教育推進の参考に供するため、国際機関等の会議にも積極的に参加しています。

【内容】

本年度は、当委員会事務局スタッフがO E C D主催の国際会議に出席し、各国における金融教育に関する活動状況について情報収集を図るとともに、わが国における金融教育に関する情報を提供し、参加者との意見交換に努めました。

都道府県金融広報委員会の活動への支援

【目的】

都道府県金融広報委員会の活動を支援することを通じ、金融に関する正確な知識等を全国的に普及させることを目的としています。

【内容】

当委員会の活動は、全都道府県にある金融広報委員会（以下、「各地委員会」という）と密接に連携しながら推進されています。各地委員会は、各都道府県、地方財務局・財務事務所、日本銀行支店・事務所や、銀行、信用金庫、信用組合、証券会社、保険会社などの業界団体等から選出された委員から構成され、日常的な活動は主に、県または日本銀行支店・事務所に置かれている事務局によって行われています（資料1参照）。

各地委員会では、当委員会と連携しながら、金融に関する正確な知識等を当該地域の方々に幅広く普及させるため、独自の活動を展開しています。各地委員会の活動は、地域毎に異なる諸条件や現状を踏まえ最適な方法が模索されるため、内容は必ずしも一律ではありませんが、「金融商品に関する正確な知識の普及」、「金融・金銭教育への支援」、「金融トラブルに対する注意喚起とその対処方法の周知」を軸に活動を展開する委員会が多くみられます。

【当委員会による各地委員会への支援の概要】

各地委員会では、各都道府県民の方々への啓発資料の提供のほか、大規模な講演会・シンポジウム、中小規模の講座やセミナーの開催といった活動にも積極的に取組んでいます（資料2参照）。こうした活動を支えるものとして、（1）金融広報アドバイザー制度、（2）金融学習グループ制度、（3）金融・金銭教育研究校制度、（4）金融教育研究グループ制度、（5）金融学習特別推進地区制度があります。当委員会では、これらの活動や制度が有効かつ円滑に運用されるように資金的な援助や様々なノウハウを提供しているほか、資料・教材等を配付するなどの支援を行っています。

各制度の概要は以下のとおりです。

1. 金融広報アドバイザー制度

金融広報アドバイザー制度とは、地域の方々に対し、中立公正な立場から、客観的で正確な金融関連知識を直接提供するために、各地委員会が金融経済に関する有識者などを金融広報アドバイザーとして選任し、当委員会が委嘱する制度です。各地委員会で選任・委嘱されている金融広報アドバイザーは、2011年3月31日現在、総勢467名です。金融広報アドバイザーは全国各地で、金融商品、資産形成、年金、保険、税金、金融トラブル、金融・金銭教育等をテーマにした講演会や講座・講習会の講師をはじめとする広報活動で活躍しています（本年度中の講師派遣件数は3,772回）。

なお、当委員会では、金融広報アドバイザーの活動に関する情報や資料を各地委員会に提供するなどの支援を行っています。

2. 金融学習グループ制度

金融学習グループ制度とは、金融経済知識の習得のために自主的かつ意欲的に学習活動に取組むグループに対して、各地委員会が活動目的、学習内容を吟味したうえで、原則として1年間（活動実績等を踏まえて2回まで延長可）「金融学習グループ」として認定し、金融広報アドバイザーの派遣や資金的な援助などを行う制度です。2011年3月31日現在、全国で71先が金融学習グループとして認定され、身近な各種金融商品の仕組みや特徴、金融に関する法律や制度、生活設計や資金計画の策定およびそれに必要な年金・保険・税金、子どもや若者に対する基礎的な金融に関する消費者教育の進め方などをテーマに学習活動が行われています。

なお、当委員会では、各地委員会が行う金融学習グループへの資金的援助を助成する制度を設けています。

（金融学習グループにおけるカリキュラムの例）

テーマ	講 師
金融・経済についての基本的な見方	日本銀行職員
ライフプランニングの方法	金融広報アドバイザー
金融商品の基礎知識	金融広報アドバイザー
正しい年金の知識	金融広報アドバイザー
悪質商法からの防衛策	弁護士

3. 金融・金銭教育研究校制度

金融教育研究校あるいは金銭教育研究校（以下、「研究校」という）制度とは、学校や幼稚園において、金融や金銭に関する具体的な教育を実践し、その効果的な方法を研究していくことを目的に、各地委員会が幼稚園または学校を1年ないし2年間、研究校として委嘱する制度です。高等学校、中学校、小学校等において、金融・経済に関する正しい知識の習得に力点を置くものを「金融教育研究校」、中学校、小学校、幼稚園等において、金銭や物に対する健全な価値観の養成に力点を置くものを「金銭教育研究校」として委嘱します。当委員会および各地委員会では、研究校に対して、カリキュラムの作成や金融広報アドバイザーを含む講師の派遣、授業で用いる教材・資料等の提供、授業を進めるうえでの各種技術指導等の支援を行っているほか、研究・実践に必要な費用の一部を補助しています。

2011年3月31日現在、全国41都道府県で計135校の研究校が委嘱され、その成果等に関する情報については、各地委員会によって開催される金融・金銭教育協議会や金融教育公開授業における発表等を通じて共有され、活動内容の向上に役立てられています。

（参考）研究校の委嘱状況

	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	養護学校
金融教育研究校	42校	26校	6校		2校
金銭教育研究校		8校	38校	11校	2校

4. 金融教育研究グループ制度

金融教育研究グループ制度とは、主として高等学校、中学校において特定のまたは複数の教科（公民科、家庭科、商業科など）や総合的な学習の時間等を担当する教師の学校横断的な研究会・グループ等のうち、金融教育を実践・研究しようとしているグループに対して、金融教育研究校に準じて研究を委嘱し、当委員会および各地委員会が、ノウハウや資金的な援助を行う制度です。2011年3月31日現在で全国5県において5グループが金融教育研究活動に取組んでいます。当委員会および各地委員会では、この制度を通じ、実際に教育現場を担っておられる先生方に金融教育への理解を深めていただくとともに、より効果的な授業が幅広く行われるように支援しています。

5 . 金融学習特別推進地区制度

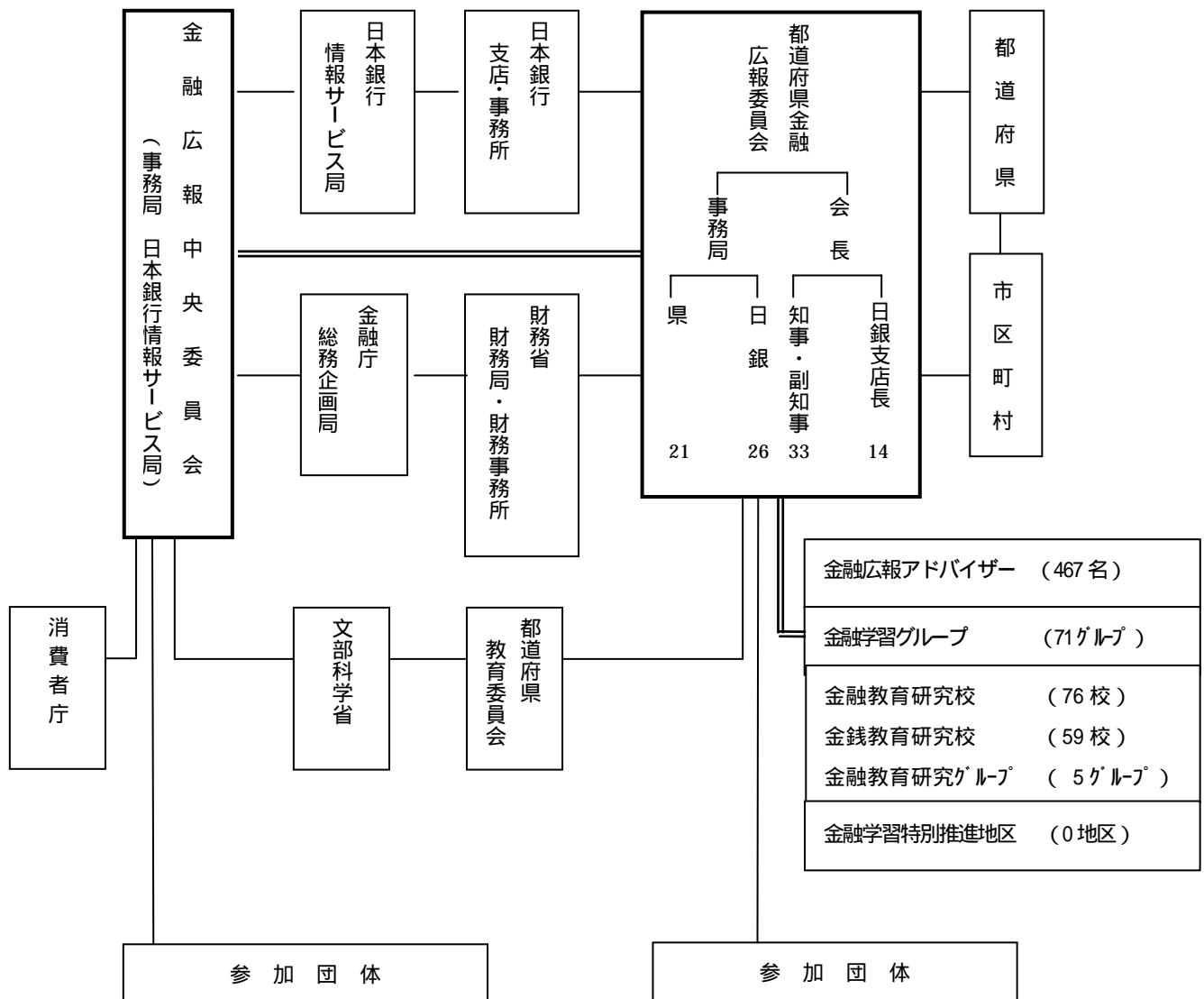
金融学習特別推進地区（以下、「特区」という）制度とは、市区町村またはその中の一定地域が、各地委員会および当委員会と一体となって、地域ぐるみ（住民、企業、学校、PTAなど）で継続的な金融学習への取組みを推進することを目的に、2004年度に設けられた制度です。同制度の委嘱は各地委員会が行い、委嘱期間は原則として2年間です。

本年度は、東京都八王子市が特区2年目（2010年9月末で委嘱期間終了）を迎える、当委員会および東京都金融広報委員会からの幅広い支援を受けつつ、暮らしに身近な金融の学習活動を、講演会や講座等を通じて活発に行いました。

なお、2011年4月からは、東京都足立区が新たに2年間の特区指定を受け、区民向けの金融学習支援活動を幅広く展開する予定になっております。

(資料1) 金融広報中央委員会活動の相互連携図

<2011.3.31現在>



(資料2) 主な金融経済等講演会の開催状況

(敬称略)

日 時	開催地	講 師 名	テ 一 マ
2010年 5月30日(日)	京都府 八幡市	高橋 進 (株)日本総合研究所副理事長)	「これからの日本経済と私たちのくらし」
7月15日(木)	東京都 渋谷区	細野 真宏 (Hosono's Super School 代表)	「よくわかる金融と経済 ~情報の本質を見抜いて消費者力をアップ!!~」
7月24日(土)	北海道 旭川市	細野 真宏 (Hosono's Super School 代表)	「世界一わかりやすい金融経済の授業」
9月4日(土)	福井県 福井市	川本 裕子 (早稲田大学教授)	「日本経済に今必要なこと」
9月12日(日)	富山県 富山市	ダニエル・カール (翻訳家・タレント、山形 弁研究家)	「くらしとおかねのお役立ちヒント ~日米の生活体験を通じて~」
9月22日(水)	広島県 福山市	いちのせ かつみ (ファイナンシャルプランナー、 生活経済ジャーナリスト)	「子どもに伝える『生きたお金のつかいかた』」
10月7日(木)	鹿児島県 鹿児島市	紀藤 正樹 (弁護士)	「ちょっと待った!悪質商法にご用心」
10月13日(水)	神奈川県 横浜市	細野 真宏 (Hosono's Super School 代表)	「わかりやすい年金の話」
10月13日(水)	静岡県 浜松市	住田 裕子 (弁護士)	「気をつけよう!金融トラブル」
10月25日(月)	長野県 長野市	山田 真哉 (公認会計士)	「会計士が教える貯蓄と投資のセンスアップ」
10月26日(火)	石川県 金沢市	翁 百合 (日本総合研究所理事)	「最近の経済・金融情勢について」
10月27日(水)	沖縄県 浦添市	ダニエル・カール (翻訳家・タレント、山形 弁研究家)	「楽しく学べる!オラの日米おもしろお金 講座」
11月1日(月)	青森県 青森市	山田 真哉 (公認会計士)	「会計士が教える貯蓄と投資のセンスアップ」
11月6日(土)	栃木県 宇都宮市	生島 ヒロシ (フリーアナウンサー、 ファイナンシャルプランナー)	「心と体と財布の健康」
11月6日(土)	岐阜県 大垣市	蟹瀬 誠一 (国際ジャーナリスト、 明治大学国際日本学部長)	「グローバル化時代でどうなる日本、私たち の暮らし」

日 時	開催地	講 師 名	テ ー マ
11月6日(土)	滋賀県 大津市	藤澤 久美 (ソフィアバンク副代表)	「グローバル経済の潮流と私たちの暮らし」
11月 6日(土)	香川県 高松市	山田 真哉 (公認会計士)	「会計士が教える貯蓄と投資のセンスアップ」
11月10日(水)	群馬県 前橋市	堀田 力 (弁護士・公益財団法人さわやか福祉財団理事長)	「高齢者をささえるネットワーク ~能力と財産を生かして幸せに暮らせる社会~」
11月11日(木)	茨城県 水戸市	高橋 進 (株)日本総合研究所副理事長)	「金融・経済のこれから~世界の潮流変化を考える~」
11月20日(土)	島根県 松江市	坂東 真理子 (昭和女子大学学長)	「品格ある生き方のための家庭経済学」
11月24日(水)	兵庫県 神戸市	堀田 力 (弁護士・公益財団法人さわやか福祉財団理事長)	「活力ある長寿社会~人生第2のステージ、自分を存分に活かす~」
11月28日(日)	長崎県 長崎市	山田 真哉 (公認会計士)	「知って得する!これからの金融・貯蓄~数字を味方に付けるコツ」
2011年 1月15日(土)	宮城県 仙台市	藤澤 久美 (ソフィアバンク副代表)	「多様化する世界経済と金融商品の見分け方」
1月27日(木)	愛知県 愛知郡	住田 裕子 (弁護士)	「楽しく安心できる暮らしのために 『~行列のできる相談所から~』」
2月5日(土)	愛媛県 松山市	紀藤 正樹 (弁護士)	「私はダマされない!安心して暮らせる社会のために」
2月9日(水)	奈良県 奈良市	紀藤 正樹 (弁護士)	「悪質商法の手口と撃退法」
2月27日(日)	大分県 大分市	いちのせ かつみ (ファイナンシャルプランナー、 生活経済ジャーナリスト)	「お金が好きやねん! 賢くお金と付き合う方法」
3月 2日(水)	福岡県 福岡市	蟹瀬 誠一 (国際ジャーナリスト、 明治大学国際日本学部長)	「蟹瀬誠一の日本経済の論点」